

町内各地で夏祭りが催されました

7月下旬から8月中旬にかけて町内各地で夏祭りが開催され、地元の方たちや多くの観光客で賑わいました。

新町地蔵踊り

7月21日(土)、香々美地区新町地蔵堂前にて「新町地蔵踊り」が行われました。

この踊りは鏡野町指定無形民俗文化財に登録されており、言い伝えでは、天正時代(1573-1591)から豊年を祈る踊りとして始まり、現在まで1年も休むことなく400年以上続いているといわれています。

踊りは「四つ拍子」が主体で、他に「願力」、「チョイチョイ踊り」があり、



今年もやぐらを囲んで子どもから大人まで大勢の人たちが太鼓と音頭に合わせて心ゆくまで踊りました。

また、特設ステージでは地域の青壮年で構成された新町一日会と地域の子どもたちによる和太鼓の演奏が行われ、多くの観客で賑わいました。

奥津温泉夏祭り

8月14日(火)、奥津温泉花美の里の駐車場にて奥津温泉夏祭りが開催され、ひらめ(岡山県北地域での「あまご」の通称)のつかみ取りやステージイベント、打ち上げ花火等が行われました。

ひらめのつかみ取りでは、子どもたちはスタートの合図とともに一斉に池に入り、一生懸命にひらめを探していました。たくさんの子どもたちが飛び込んだため、水の色は茶色く濁り、水中の様子がわからない中、子どもたちは文字通り手探りで1匹1匹ひらめを捕まえていました。

ステージイベントでは、コーラ・ビールの早飲みやいす取りゲームなどが行われ、白熱した展開となり大いに盛り上がりました。

最後には打上花火も上がり、温泉街の夜空を彩りました。



富ふるさと祭り

8月14日(火)、富ふるさと公園において、富ふるさと祭りが開催されました。

特設ステージでは、有志によるバンド演奏や傘踊り、万歩計競争ゲーム等が行われ、帰省中の家族連れや地元の人たちで賑わいました。途中福引大会もあり、当選番号が発表されるたび、あちこちから歓声が上がっていました。

会場内にはひらめの炭火焼きをはじめとした地元の出店が並び、来場者を楽しませていました。

